

「さっぽろ連携中枢都市圏『まちづくりパートナー協定』」締結について

7月12日（金）、北海道のイオングループ（イオン北海道㈱・マックスバリュ北海道㈱）は、札幌市を中枢都市としてさっぽろ圏12市町村が推進する「さっぽろ連携中枢都市圏」について、協働で取り組むべく「さっぽろ連携中枢都市圏『まちづくりパートナー協定』」を締結しました。

札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町のさっぽろ圏12市町村は、人口減少・少子高齢化においても、圏域内の活力を維持し、魅力あるまちづくりを進めるため、2019年3月に「さっぽろ連携中枢都市圏」を形成しました。

また、札幌市とイオン株式会社は、双方が持つ資源を有効に活用し、産官相互の連携と協力を基盤に、札幌市のより一層の発展と飛躍を目指したまちづくりに取り組むことを目的に、2014年1月に「さっぽろまちづくりパートナー協定」を締結しました。

この度、さっぽろ圏12市町村と北海道のイオングループは、さっぽろ連携中枢都市圏ビジョンのより一層の推進と、圏域における官民が連携したまちづくり活動を促進することを目的に「さっぽろ連携中枢都市圏『まちづくりパートナー協定』」を締結することとなりました。

これにより、「災害に強い、安全・安心なまちづくり」、「地域とともに環境行動を実践するまちづくり」など、6項目についてさまざまな取り組みを進めてまいります。

なお、北海道のイオングループは、さっぽろ連携中枢都市圏の12市町村に「イオン」、「イオンスーパーセンター」、「マックスバリュ」、「ザ・ビッグ」等101店舗を展開しております。

北海道のイオングループは、これからも地域のくらしに根ざした企業として、これまで以上にさっぽろ圏12市町村との連携を深め、地域の活性化や市民の皆さまへの新しいサービスの創出に連携して取り組んでまいります。

【「さっぽろ連携中枢都市圏『まちづくりパートナー協定』」の概要】

- (1) 地域とともに環境行動を実践するまちづくり
- (2) 災害に強い、安全・安心なまちづくり
- (3) ボランティアなど市民の主体的な活動を応援するまちづくり
- (4) 障がい者の自立支援を通じた、ぬくもりあふれる共生のまちづくり
- (5) 文化芸術やスポーツの振興を通じた創造性を育むまちづくり
- (6) その他両者の協議により決定した事項



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 総務部広報・IR 佐藤・山崎
マックスバリュ北海道株式会社 経営企画部

電話：011-865-9111
電話：011-631-5192

【ご参考】「さっぽろまちづくりパートナー協定」に関する取り組みの一例

■災害に強い、安全・安心に関する取り組みについて

イオンでは、災害時に地域のお客さまの暮らしを支え、社会インフラの役割を果たしていけるよう、地震や津波を想定した防災訓練を継続的に実施し、自治体や企業、病院と防災協定を締結するなど、事業計画に備える取り組みを積極的に進めております。

昨年発生した北海道胆振東部地震では、この防災協定に基づき、地震発生直後より各自治体からの要請に応じた食品や日用品などの支援物資を約5万1千個送付し、札幌市へは公営住宅に入居された方への物的支援として寝具一式及び飲料水を寄贈いたしました。また、全国のイオングループの店舗・事業所約7,500カ所において緊急支援基金を実施し、北海道に2,300万円、札幌市に1,252万7,455円を寄付いたしました。



<札幌市へ寝具一式を寄贈>

■地域社会とともにボランティア活動や環境保護活動を推進

～「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」と「クリーン&グリーン活動」について

イオンでは、毎月11日を「イオン・デー」とし、従業員や地域の皆さまとともに環境・社会貢献活動に積極的に取り組んでおります。

「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、地域に根ざしたボランティア団体さまをお客さまとともに支えていく活動であり、毎月11日のお買物精算時に、お客さまにお渡しした黄色いレシートを、店内に設置している団体名や活動内容が書かれた専用BOXに自ら投函いただくことで、そのレシート合計金額の1%相当の品物を、各団体さまに寄贈する取り組みです。2018年度はイオン北海道(株)で約2,156万円相当の品物を、マックスバリュ北海道(株)では約706万円相当の品物を道内各地のボランティア団体さまへ贈呈いたしました。



<幸せの黄色いレシートキャンペーン>

また、「イオン・デー」では、店舗周辺の街並みの美化活動「クリーン&グリーン活動」を実施しております。これは、従業員がボランティアで店舗周辺などを清掃する取り組みで、毎年10月には、通常の活動より範囲を拡大し、店舗周辺や公共の場などの清掃活動を行っております。



<豊平川の拡大清掃>

■資源循環の促進～「レジ袋削減」について

イオンでは、限られた資源を有効に活用し、地球環境を守るため1991年より「買物袋持参運動」に取り組み、北海道のイオングループでは、2008年6月より食品レジ袋の無料配布中止の取り組みを行っております。現在、道内では「イオン」「マックスバリュ」等126店舗に広がっており、多くのお客さまがマイバッグの持参等にご協力くださり、実施店舗でのレジ袋の辞退率は80%超となりました。

また、レジ袋をご希望のお客さまには、有料で植物由来材料を主原料としたバイオマス素材を配合したレジ袋を有料でご提供しており、その販売収益は店舗が所在する自治体などを通じて、環境保全活動にお役立ていただいております。2018年度の北海道のイオングループ2社の販売収益は168万8,955円となりました。

